

接着系アンカー(有機系・回転型・ガラス管式)

認証取得者	日本デコラックス株式会社
所在地	愛知県丹羽郡扶桑町柏森前屋敷 10
連絡先	Tel:0587-93-2411 Fax:0587-91-1070
商 品 名	ケミカルアンカー・Rタイプ (ーN)
接着剤の材質	変性ビニルエステル樹脂
認証種類	タイプ B
認証番号	第 22-0004 号
認証有効期間	2022年9月28日 ~ 2027年9月27日



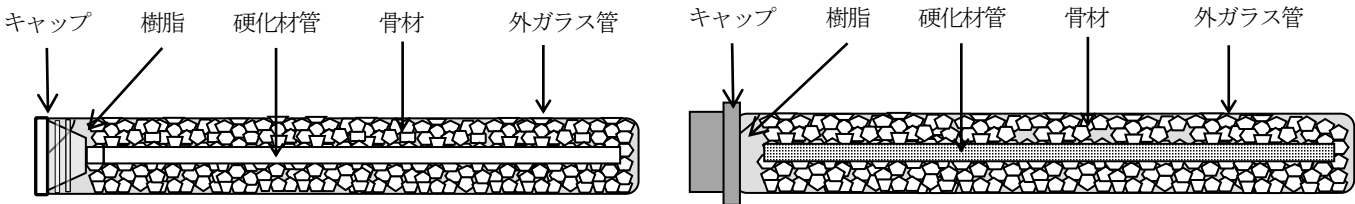
認証内容

構成部品	項目 1	カプセル容器	材 質		ガラス						
			形 状		別添資料による。						
			寸法及び許容差		別添資料による。						
			製品重量及び許容差		別添資料による。						
	項目 2	接着剤関連	材 質	主材	変性ビニルエステル樹脂		硬化材	過酸化ベンゾイルと無機充填材の混合物		骨材	天然珪砂
			強 度	$\tau_{fu} \geq 10 \sqrt{\sigma_B / 21}$ (N/mm ²) に対して、95%以上の信頼性を有している。 [記号] τ_{fu} : 付着強度計算値 (N/mm ²)、 σ_B : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²)							
	項目 3		物 性	圧縮強さ	98.0N/mm ² 以上			引張り強さ	19.6 N/mm ² 以上		
				曲げ強さ	29.4N/mm ² 以上			圧縮弾性係数	980 N/mm ² 以上		
				耐アルカリ性	質量変化率が±10%以内						
	項目 4	アンカー筋関連	種 類	・メートル並目ねじ (JIS B0205) 種類と呼び名 (径) は別添資料による。 ・異形棒鋼 (JIS G3112) 種類と呼び名 (径) は別添資料による。							
			先端形状	片面 45 度斜めカットしたものであること。							
			外 観	下記を満たすものであること。 1) 油、きりかすなど異物が表面に付着していないこと。 2) 油じみがないこと。 3) ナットを嵌合する部分のねじが損傷していないこと。							
	項目 5		材 質	メートル並目ねじ (JISB0205) : SS400 (M8～M24) 及び SUS304 (M8～M24) 異形棒鋼 (JISG3112) : SD295 (D10) 及び SD345 (D13～D25)							
表面処理			アンカー筋に防食が必要な場合は、表面処理を施す。 表面処理は、原則としてクロームめっき、亜鉛めっきとする。 なお、認証されたアンカー筋は、表面処理を施していない。								
項目 6	強 度	降伏点・引張り強さ・伸び率		別添資料による。							
	ねじ等級	8g もしくは 3 級、または、それ以上の等級とする。									
製品	項目 7	ドリルの種類	ハンマードリルとする。								
		ドリル径および許容差	別添資料による。								
	項目 8	穿孔深さと許容差	別添資料による。								
	項目 9	母材の種類	普通コンクリートとする。								
	項目 10	設計基準強度の範囲	18 N/mm ² 以上、36 N/mm ² 以下。								
	項目 11	環境条件 (固着後)	外気温－5℃以上、80℃以下とする。								
	項目 12	引張耐力算定式	破壊形式に応じて適用する式 (1) から式 (3) に対して 95%以上の信頼性を有している。 $T_{oc} = 0.23 \sqrt{\sigma_B \cdot A_o} \cdots$ 式 (1)、 $T_{ob} = \tau_a \cdot \pi \cdot d_a \cdot \ell_e \cdots$ 式 (2)、 $T_{tu} = \sigma_u \cdot a_o \cdots$ 式 (3) 「記号」 T_{oc} : コーン破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) σ_B : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) A_o : コーン状破壊面の有効水平投影面積 (mm ²) ($= \pi \cdot \ell_e \cdot (\ell_e + d_a)$) T_{ob} : 付着破壊したアンカーの引張耐力計算値 (N) τ_a : 付着強度 (N/mm ²) で、次式による。 ($= 10 \sqrt{\sigma_B / 21}$) ℓ_e : アンカー筋の有効埋込み深さ (mm) ($= L - d_a$) L : アンカー筋の埋込み深さ (mm)、 d_a : アンカー筋の外径 (mm) T_{tu} : アンカー筋が破断したアンカーの引張耐力計算値 (N) σ_u : アンカー筋の素材の材料強度 (N/mm ²) ($= 1.1 \sigma_y$) σ_y : アンカー筋の規格降伏点 (N/mm ²) a_o : アンカー筋の最小断面積 (mm ²)								
	項目 13	引張剛性	あと施工アンカーの引張剛性が、下記の条件を 95%以上の信頼性を持って満足している。 $\min. \{ T_{my}, 0.6 T_{oc}, 0.6 T_{ob} \}$ 時における軸方向の変位量 δ が、1.0 mm 以下 [記号] T_{my} : アンカー筋の降伏引張耐力 ($= \sigma_y \cdot a_o$)								
	項目 14	せん断耐力算定式	せん断試験での破壊形式が、すべて「アンカー筋のせん断破壊」となり、下式に対して、95%以上の信頼性を有している。 $Q_{tu} \geq (\sigma_u / \sqrt{3}) \cdot s \cdot a_o$ [記号] Q_{tu} : アンカー筋のせん断破壊により定まるせん断耐力計算値 (N) $s \cdot a_o$: アンカー筋の最小断面積 (mm ²) σ_u : アンカー筋の素材の規格引張り強さ (N/mm ²)								
	項目 15	せん断剛性	アンカーのせん断剛性が、下記の条件を 95%以上の信頼性を有している。 0.6 Q_{tu} 時における水平変位量が 5mm 以下又は 0.3 d 以下 (d : アンカー筋の呼び名)								

[注] 項目 1 ~ 15 は、評価認証審査項目を示す。

別 添 資 料

【カプセル容器の形状】



R-8N、R-10N、R-12N の形状

R-16N、R-19N、R-22N、R-25N の形状

【カプセルの寸法と許容差、カプセルの容量及び内容量の許容差、アンカー筋と適用するドリル径と穿孔深さの許容差】

品 番	カプセル径 [mm]	カプセル長 [mm]	カプセルの容量 [g] (内容量及び許容差)	アンカー筋	ドリル径[mm]		穿孔深さ[mm]	
					径	許容差	穿孔深さ	許容差
R-8N	8.0±0.4	70±3.0	5.50 (3.20~3.52)	M8	9.0	-0 ~+0.4	70	-0~+3.0
R-10N	10.5±0.5	80±3.0	11.4 (7.50~8.25)	M10	12.0		90	
R-12N	13.0±0.5	83±3.0	17.8 (12.5~13.7)	M12	14.5		100	
				D13	16.0		130	
R-16N	15.0±0.5	110±5.0	35.0 (21.5~23.6)	M16	18.0		200	-0~+5.0
R-19N	19.0±0.5	153±5.0	74.0 (54.3~59.7)	D19	24.0		250	
				M22	26.0		300	
R-22N	22.0±0.5	198±5.0	132 (88.8~97.6)	D22	28.0			
R-25N	24.5±0.5	265±5.0	223 (157~172)	M24	30.0			
				D25	32.0			

【アンカー筋の材質と強度】

1. 全ねじボルトの材質と規格降伏点、引張強さ、伸び率

材質記号	規格番号	引張強さ N/mm ²	規格降伏点 N/mm ²		伸び率 %
			鋼材の厚さ (mm)		棒鋼の径 (mm)
			16 以下	16 を超えて 25 以下	25 以下
SS400	JIS G3101	400~510	245 以上	235 以上	20 以上
SUS304	JIS G4303	520 以上	205 以上		40 以上

2. 異形棒鋼の材質と規格降伏点、引張強さ、伸び率

材質記号	規格番号	引張強さ N/mm ²	降伏点又は0.2%耐力 (N/mm ²)	伸び率 %	
				棒鋼の径 (mm)	
				25 未満	25 以上
SD295	JIS G3112	440~600	295 以上	16 以上	18 以上
SD345	JIS G3112	490 以上	345~440	18 以上	20 以上

3. アンカー筋の適用範囲

製品仕様			試験に用いた仕様	
種類	材質	サイズ	材質	サイズ
メートル並目ねじ	SS400	M8~M24	SS400	M8~M24
	SUS304	M8~M24	SUS304	M8~M24
異形棒鋼	SD295	D10	SD295	D10
	SD345	D13~D25	SD345	D13~D25